

RISING * VIEW

ゆたかな住環境をつくる・楽しむインフォメーションマガジン

ライティング・ビュー

特集

本能が加速する
クールな仕事

Topic **秘湯の**
ひとつのぜいさく
贅極

*資格と資格の♡
LOVE GAME
★ラブゲーム★ 建築・不動産編

Special Interview

田中真紀子

Life for the Professional



北山恒設計のG-FLAT。ガラス張りの外観が突き抜ける開放感を演出し、内部は4面採光と可動家具による自由なプランバリエーションで快適に。

賃貸住宅をセンスで選ぶ 憧れの建築家の作品に住む

取材協力: コムラエージェンシー
www.komura-agency.co.jp/designer/

注文に応じて従来通りの流れで設計された集合住宅に対し、建築家が明確な思想とコンセプトをもって設計したマンション、それがデザイナーズマンションだ。90年代後半、このような形態のマンションが注目されはじめた当初はデザインマンションなどとも呼ばれたが、どんなマンションでもデザインはされている。そうではなく、デザイナーの意図が反映されていること、そのことを評価する

意味で、デザイナーズマンションという呼び方が主流になったといわれる。人気物件の中には、何年も先までウエイティングリストが埋まっているものも。その魅力は、まず美観。通る人々が見とれるような、雑誌の撮影場所として登場するような建物に、自分が暮らすことができる。さらには、暮らし方にこだわったさまざまな工夫。第一線で活躍する建築家が、自分の作品に対し、見た

目のよさだけを追求するはずがないのは当然のこと。最新の技術、抜ぎ込んだ工夫が随所に取り入れられた、機能的で快適な住まい、住み手側の意識もいい意味で試す住まいなのだ。美しく気分よく暮らすという心の支え、生活を楽しめるという実の部分の支え。そこに暮らす人をさまざまな面から幸せにしてくれるマンションは、これからの集合住宅の主流になっていくのかもしれない。



建築家・木下道郎設計のCourt Modelia NAKAMEGURO。シャープ感と中目黒駅2分の立地、心地よい採光・通風など魅力満載。



プロジェクターのシネマに迎えられるCourt Modelia NINGYOCHO。江戸情緒とモダンがコラボしたやわらかな感性のハイグレード物件。



谷内田章夫設計の新プロジェクト、シャープなデザインと3.7mの天井高で、光と風のハーモニーが楽しめるCourt Modelia YUTENJI。



INFORMATION

architect's
conceptual
apartment